

令和4年5月31日
赤羽会館大ホール
午後2時00分から

令和4年度 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会
第1回幹事会 次第

1. 開会 尾花会長挨拶

2. 議題
 - (1) これまで実施したグループワークやインタビューの振り返り
 - (2) 参考事例の紹介
 - (3) 次回グループワークのテーマについて

3. その他

(配布資料)

資料1 令和4年度 赤羽駅東口地区まちづくり協議会等の運営
について

参考資料1 令和3・4年度赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会活
動方針

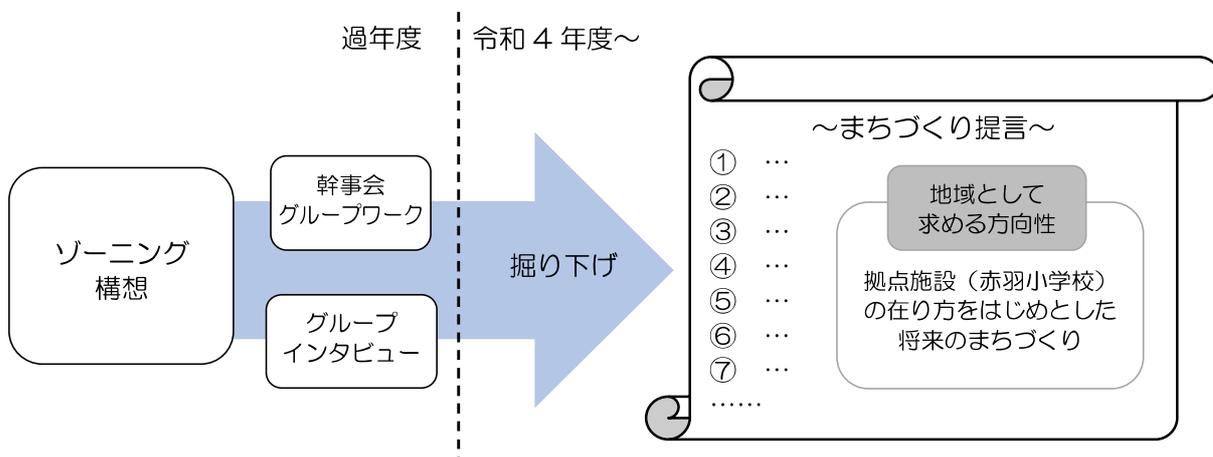
参考資料2 赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想

◎次回幹事会：令和4年7月5日（火）午後2時より
赤羽会館大ホールにて

令和 4 年度 赤羽駅東口地区まちづくり協議会等の運営について

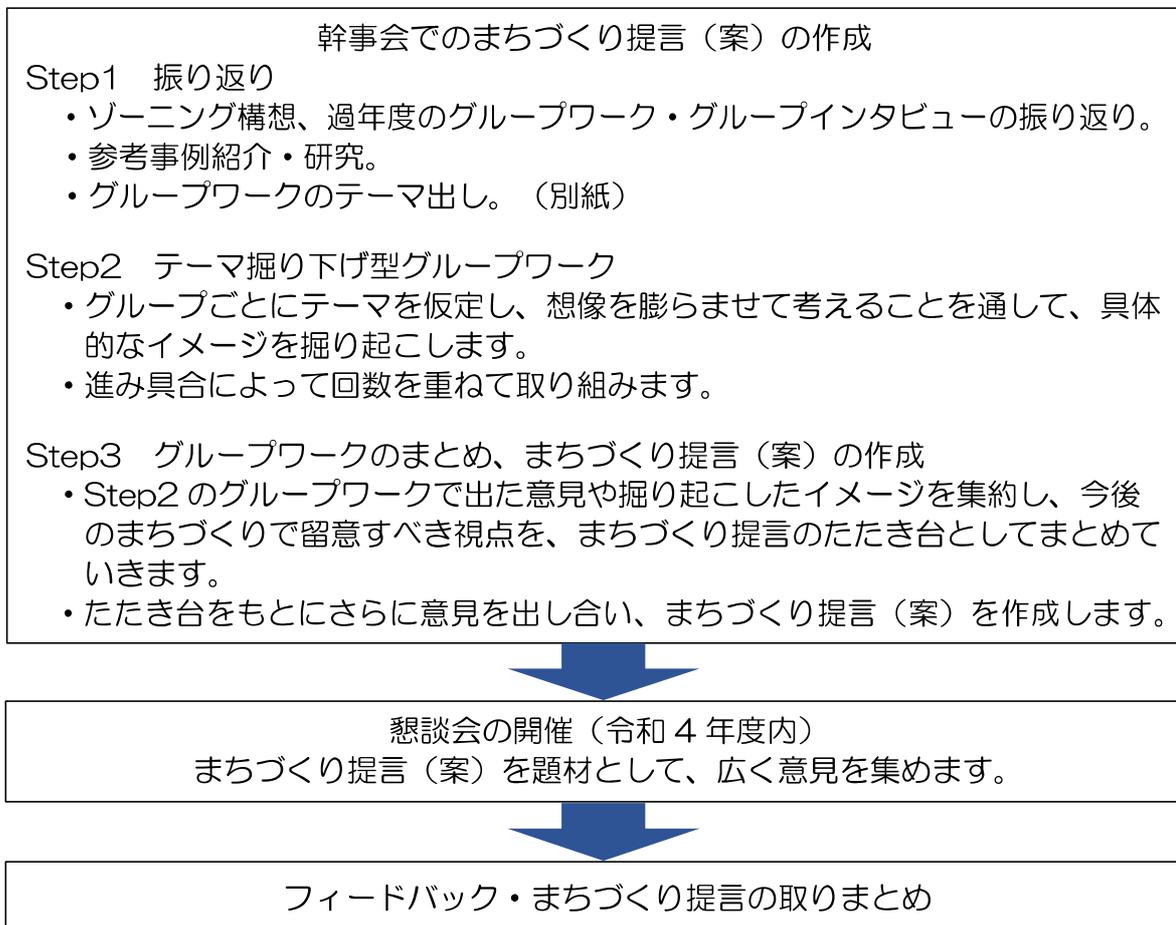
■ 目 標

ゾーニング構想づくりや過年度のグループインタビュー等の成果を掘り下げていくことで、地域の拠点施設（赤羽小学校）の在り方をはじめ、将来のまちづくりにおいて、地域として求める方向性を 5～10 の提言として作成することを目指します。



※「まちづくり提言（案）」の体裁については、今後の協議会幹事会の議論の中で決めることとしますが、「まちづくり懇談会」で地域住民の方々との意見交換等の題材とするイメージのため、できる限りわかりやすい形式で（例：文字ばかりでなく、イメージ図等を中心に）まとめていきます。

■ 想定スケジュール



Memo

A large, empty rectangular area with rounded corners, outlined by a dotted blue line, intended for writing a memo. The area is centered on the page and occupies most of the vertical space below the title.

■次回グループワークのテーマについて

「赤羽」ってどんなまち？
「赤羽」をどんなまちにしたい？

〇〇のまち赤羽

△△なまち赤羽

◇◇があるまち赤羽

• • • •

<これまでのご意見>

みどり・うるおい・景観

- 賑わいのまちには緑が大切、うるおいが必要
- みどりを多く
- 景観全般の向上
- 駅休憩スペースとしての公園が必要では
- 公園機能見直しが必要

◎荒川

- 赤羽が支持されている理由は桜、河辺、花火

- 赤羽は通過駅である。利便性高い。(立ち寄ってもらうには?)
- 来街者を増やすのであれば(拠点)は大切な場所
- ランドマーク、アイコンが(拠点)であれば潤うのでは

まちの課題

- 活気は良いが(安い)飲み屋のイメージは良し悪し
- 飲屋以外でも人が集まる仕組み
- 「飲み屋」のイメージを変えてほしい
- 今の人気の次のステップを

交流力

交通アクセスを生かしたまちづくり

- 駅広の印象が悪い
- 駐輪場、放置自転車問題
- 車の通行も問題。駐車場

水辺や緑に囲まれた、多様な機能が集積する利便性の高いまち(都市計画マスタープラン)

◎東洋大学

- 若い人が増えている

◎防災

- 水害、地震
- 赤羽会館が唯一の高台
- 避難所、帰宅困難者受け入れ
- 防災機能を持った公園

- 映画館、アミューズメント

きずな力

安心・安全でつながりのあるまちづくり

- 区民事務所
- 文化施設(図書館、体育館、文化館)

創生力

教育機関などと連帯したまちづくり

◎西が丘トレセン

◎下町の風情

- 赤羽を選ぶ理由は今の風情、人情。大事にしたい。
- いいにおいのするまち

◎赤羽小学校

- 赤小は歴史がある
- 赤小のイベント、マーチングの伝統
- 空が見える拠点
- 子どもが多いと賑わいに
- 通学路の安心安全
- セキュリティ強化

- 高齢者、障がい者に配慮した環境
- バリアフリー、段差解消
- 朝から夜中まで健全に歩ける
- 多世代交流
- 個人店舗減少、買い物不便
- スーパーが多く買い物便利

- 観光地化している。住民は…

令和3・4年度 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 活動方針

1. 会長、副会長、幹事を中心に、引き続き住民と区が相互に、赤羽駅東口地区まちづくりの円滑な推進を図ります。
2. 協議会がまとめた「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」を具現化しながら、地域内で事業化が計画されている住民発意の市街地再開発事業等の新たなまちづくりの進捗にあわせて、「地域の拠点施設（赤羽小学校）」の在り方をはじめ、将来のまちづくりについて一層具体的な検討を進めます。
3. 検討にあたっては、まちづくり懇談会やグループインタビューの開催、まちづくりニュースの随時発行など、より多くの住民の参加が得られる機会の創出と情報提供について、積極的に取り組んでいきます。

赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想

●交流力とは…

鉄道をはじめとする交通アクセスの良さを活かし、広域からの来街者を招きます。また、駅の東西、新旧の住民同士、周辺地域との交流を高めることにより、にぎわいにつなげていきます。

●きずな力とは…

災害時の避難・救護や、日常の見守りなど、人と人とのつながりが最も大切と考え、居住者や商業者をはじめ多様な人々が暮らす赤羽だからこそできる、安全・安心のまちづくりを目指します。

●創生力とは…

西が丘のナショナルトレーニングセンターの存在、赤羽台の東洋大学の開設などまちづくりの大きなチャンスと捉えます。これら周辺の教育機関等や地区の小中学校などと幅広く連携し、まちの魅力を創り育む力にしていきます。

